

# 第5次大船渡市男女共同参画行動計画の概要

## 第1章 基本的な考え方

### 1 計画策定の趣旨

- (1) 男女共同参画の推進は、女性が輝く場、活躍する場を拡大することで社会を支える力の増大を図り、社会全体の発展にも深く寄与する取組である。
- (2) 本市では、男女共同参画に関する施策の総合的かつ計画的な実施を図るため、平成15年に大船渡市男女共同参画行動計画を策定し、以後、改訂を行いながら各般の取組を推進してきた。
- (3) これまでの男女共同参画に関する取組の成果と課題を踏まえ、より一層推進するため、新たな計画を策定するものである。

### 2 計画の位置付け

- (1) 男女共同参画社会基本法及び大船渡市男女共同参画推進条例に基づく計画
- (2) 「大船渡市総合計画2021」を始め、各種計画との整合を図った男女共同参画に係る行政運営の基本指針
- (3) 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)に規定する「市町村推進計画」に位置付け
- (4) SDGs(持続可能な開発目標)に掲げる、「5 ジェンダー平等と女性・女児のエンパワーメント」の達成など、17の全てのゴールの達成への貢献

### 3 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間

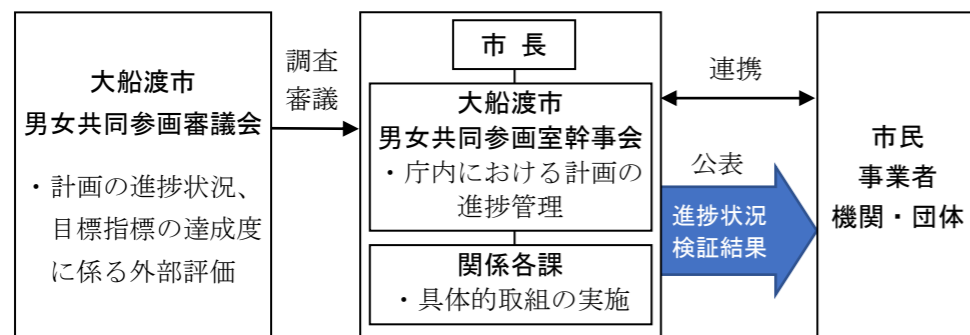
### 4 計画の推進と進捗管理

#### (1) 計画の推進

大船渡市男女共同参画審議会などを通じて市民の意向を随時把握するとともに、参画の輪を広げながら取り組む。

#### (2) 計画の進捗管理

計画の進捗状況や目標指標の達成度などについて、毎年度、大船渡市男女共同参画審議会などで評価・検証を行い、その結果などを公表する。



## 第2章 現状と課題

### 1 第4次大船渡市男女共同参画行動計画の検証

#### (1) 基本目標1 「一人ひとりが尊重されるまち」

目標指標	(策定時) R4目標	R3実績
「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合	(86.1%) 100.0%	86.8%
「性別による違いが個性や能力を發揮する上で制約になっていない」と答えた市民の割合	(35.2%) 50.0%	45.1%
社会通念・慣習・しきたりにおいて男女の地位が不平等と感じている人の割合	(73.7%) 60.0%以下	73.7%

#### (2) 基本目標2 「男女がともに参画し合うまち」

目標指標	(策定時) R4目標	R3実績
審議会、委員会などにおける女性委員登用率	(32.9%) 40.0%	35.0%
男女共同参画サポーター認定者数	(23人) 33人	(目標達成) 37人
「生涯学習に関する情報が十分提供されている」と答えた市民の割合	(19.0%) 45.0%	22.0%
「市民主体のまちづくり活動が活発である」と答えた市民の割合	(17.8%) 40.0%	28.7%

#### (3) 基本目標3 「男女がともに支え合うまち」

目標指標	(策定時) R4目標	R3実績
家族経営協定締結数	(16件) 21件	17件
家族で農林漁業、商工自営業に従事している方の経営方針、作業内容、収益の配分など、事業経営について「家族で話し合っている」と答えた市民の割合	(28.4%) 50.0%	(目標達成) 59.8%
職場において男女が平等と感じている人の割合	(20.5%) 30.0%	25.0%
「ワーク・ライフ・バランス」の内容を知っている人の割合	(43.9%) 60.0%	44.5%
「仕事と子育てが両立できる環境にある」と答えた市民の割合	(29.4%) 50.0%	29.4%
「介護や福祉のサービスが充実している」と答えた市民の割合	(30.4%) 50.0%	36.1%

#### (4) 基本目標4 みんなが健康で安心して暮らせるまち

目標指標	(策定時) R4目標	R3実績
妊娠11週(3カ月)以内での妊娠届出率	(95.7%) 100.0%	91.3%
市の健康診査の受診率	(35.3%) 60.0%	37.0%
DV防止法の名称または内容を知っている人の割合	(83.9%) 90.0%	(目標達成) 92.3%
「DV被害などについて相談窓口があることを知っている」と答えた市民の割合	(28.4%) 50.0%	32.5%

### 2 男女共同参画社会に関する市民・事業者アンケート調査などの検証

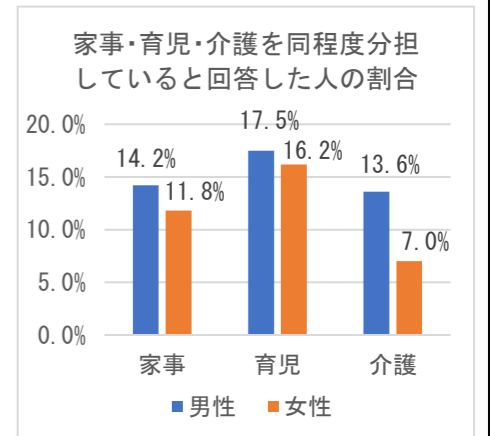
#### (1) 市民アンケート調査の検証

○男女の地位について、「男性が優遇されている」と答えた人の割合が依然として高い。

○家事・育児・介護について、「同程度分担」と回答した人の割合は2割に満たない。

○ワーク・ライフ・バランスの現状について、「性別や年代にかかわらず「仕事優先」と答えた人の割合が高い。

○性別にかかわらず暴力を受けている人や、性的少数者が一定数いる。



#### (2) 事業者アンケート調査の検証

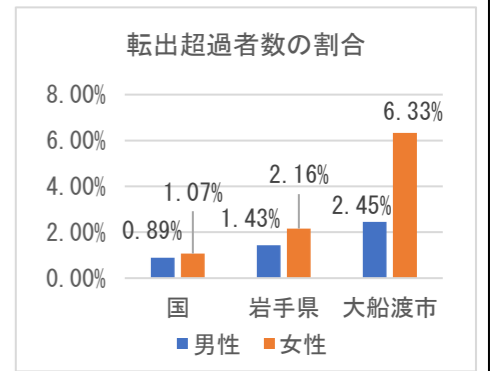
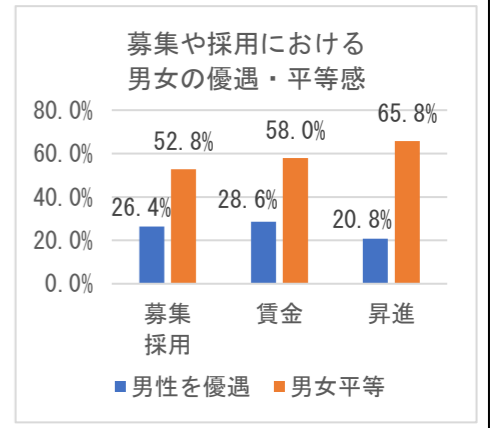
○「賃金」「募集や採用」「昇進」などで男性を優遇しているとした事業者が一定数ある。

○育児休業の取得人数・取得期間は、「女性従業員と男性従業員で大きな隔たり」がある。

○育児・介護休業制度活用の課題は、「代行要員の確保及び費用」と「周囲の従業員の業務負担増」と答えた割合が高い。

#### (3) 関係資料の検証

○本市の10~20代の人口に対する転出超過者数の割合は、男性より女性が2.5倍高い。



### 3 検証により顕在化した課題

- (1) 社会通念・慣習・しきたりなどに残る、性別による固定的な役割分担意識の払拭
- (2) 多様な性的指向・性自認への理解促進
- (3) 家事・育児・介護に係る家庭における女性の負担の軽減
- (4) DVや生活困窮などの課題を抱える対象者への支援強化
- (5) ワーク・ライフ・バランスの改善
- (6) 働きやすい職場環境づくり

意識啓発事業との連動などにより、これらに関する各種の取組を効果的に推進する必要がある。

## 第3章 計画の内容

### 《目指すまちの姿》

## 「誰もが自分らしさを互いに認め合い、暮らし続けたいまち大船渡」

男女共同参画社会の実現は、性別や年齢などにかかわらず、誰もが自分らしく活躍できる社会であるとともに、そのような「まち」は誰もが暮らしやすい「まち」です。

基本目標1 自分らしさが輝く地域社会の形成	基本目標2 ともに支え合う家庭生活の実現	基本目標3 安心して働ける魅力ある職場環境づくり 【女性活躍推進法に基づく推進計画】																																																									
<p><b>【具体的取組】</b></p> <p>1 地区と行政の協働のまちづくりと連動した女性や若者の意思決定過程及び実践活動への参画拡大</p> <p>(1) 協働推進事業</p> <p>(2) 地区・地域の防災活動への女性参画促進</p> <p>(3) 審議会・委員会における女性委員の登用推進</p> <p>(4) 地区・地域コミュニティにおけるインターネット(SNSなど)を活用した情報交換の推進</p> <p>(5) 市民活動支援事業</p> <p>2 (仮称)「男女共同市民会議」の開催と男女共同参画サポーターの養成</p> <p>(1) (仮称)「男女共同市民会議」の開催</p> <p>(2) 男女共同参画サポーター養成事業</p> <p>3 多様な性の在り方に対する理解促進</p> <p>(1) 性的少数者に対する理解促進</p> <p>(2) パートナシップ制度の導入に係る検討</p> <p>(3) 幼児・児童・生徒の性に対する理解促進と男女平等教育の充実</p> <p>(4) 学校保健事業</p> <p><b>【目標指標】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">指 標</th> <th style="width: 20%;">令和3年度【実績値】</th> <th style="width: 20%;">令和9年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「性別による役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)はない」と答えた市民の割合</td> <td style="text-align: center;">42.8%</td> <td style="text-align: center;">50.0%</td> </tr> <tr> <td>各種審議会などにおける女性委員登用率</td> <td style="text-align: center;">35.0%</td> <td style="text-align: center;">40.0%</td> </tr> <tr> <td>(仮称)「男女共同市民会議」の参加者数(累計)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">延べ100人</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画サポーターの認定者数(累計)</td> <td style="text-align: center;">37人</td> <td style="text-align: center;">57人</td> </tr> <tr> <td>「LGBTなどの言葉の意味を知っている」と答えた市民の割合</td> <td style="text-align: center;">51.0%</td> <td style="text-align: center;">70.0%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	令和3年度【実績値】	令和9年度目標値	「性別による役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)はない」と答えた市民の割合	42.8%	50.0%	各種審議会などにおける女性委員登用率	35.0%	40.0%	(仮称)「男女共同市民会議」の参加者数(累計)	—	延べ100人	男女共同参画サポーターの認定者数(累計)	37人	57人	「LGBTなどの言葉の意味を知っている」と答えた市民の割合	51.0%	70.0%	<p><b>【具体的取組】</b></p> <p>1 家事・育児・介護への男性の参画拡大と家庭生活でのワーク・ライフ・バランスの改善</p> <p>(1) パパママ教室開催事業</p> <p>(2) <sup>おやこ</sup>父子の料理教室開催事業</p> <p>(3) パートナーと介護予防講座開催事業</p> <p>(4) 家庭教育学級開催事業</p> <p>2 利用しやすい保育・介護サービスを目指した環境整備</p> <p>(1) ICTを活用した保育サービスの利用手続などの簡素化</p> <p>(2) 保育サービスの利用に係る相談支援</p> <p>(3) 子育てに関する提供情報の拡充</p> <p>(4) 子育て支援機関(機能)の拡充</p> <p>(5) ICTを活用した介護サービスの利用手続などの簡素化</p> <p>3 DVや生活困窮などの課題を抱える対象者への支援と相談窓口などの周知強化</p> <p>(1) 相談窓口の連携強化</p> <p><b>【目標指標】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">指 標</th> <th style="width: 20%;">令和3年度【実績値】</th> <th style="width: 20%;">令和9年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「家庭内で男女が家事(炊事、掃除、洗濯、子育て、介護など)の分担をしている」と答えた市民の割合</td> <td style="text-align: center;">40.8%</td> <td style="text-align: center;">45.0%</td> </tr> <tr> <td>家事・育児・介護への男性の参画拡大に資する講座・教室の参加者数(累計)</td> <td style="text-align: center;">延べ97人</td> <td style="text-align: center;">延べ500人</td> </tr> <tr> <td>「保育サービスが充実している」と答えた市民の割合</td> <td style="text-align: center;">37.7%</td> <td style="text-align: center;">45.0%</td> </tr> <tr> <td>「DV被害などについて相談窓口があることを知っている」と答えた市民の割合</td> <td style="text-align: center;">32.5%</td> <td style="text-align: center;">70.0%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	令和3年度【実績値】	令和9年度目標値	「家庭内で男女が家事(炊事、掃除、洗濯、子育て、介護など)の分担をしている」と答えた市民の割合	40.8%	45.0%	家事・育児・介護への男性の参画拡大に資する講座・教室の参加者数(累計)	延べ97人	延べ500人	「保育サービスが充実している」と答えた市民の割合	37.7%	45.0%	「DV被害などについて相談窓口があることを知っている」と答えた市民の割合	32.5%	70.0%	<p><b>【具体的取組】</b></p> <p>1 性別による仕事の内容や待遇の格差の解消</p> <p>(1) 男女雇用機会均等法などの遵守徹底</p> <p>(2) 一般事業主行動計画の策定促進</p> <p>(3) 「大船渡市働く婦人の家」の在り方検討</p> <p>2 職業における女性の活躍支援</p> <p>(1) キャリアアップ講座やリカレント教育の推進</p> <p>(2) 中学校におけるキャリア教育の推進</p> <p>(3) 女性等就業相談員による就職支援</p> <p>3 職場でのワーク・ライフ・バランスの改善</p> <p>(1) 事業者への働き方改革に関する情報提供と実践支援</p> <p>(2) 「ワーク・ライフ・バランス」の改善に関する被雇用者の理解促進</p> <p>(3) 「くるみん」や「いわて子育てにやさしい企業」の拡大</p> <p>(4) 職場におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進</p> <p>4 育児・介護と仕事を両立できる職場環境づくり</p> <p>(1) 事業者における育児・介護休業制度の活用促進</p> <p>(2) 育児・介護休業制度に関する被雇用者の理解促進</p> <p>5 女性活躍に向けた取組を市が率先して推進</p> <p>(1) 管理職や監督職への女性職員の登用</p> <p>(2) 男性職員の育児参画の促進</p> <p>(3) 仕事と家庭生活・社会活動の両立に向けた相談体制の充実</p> <p><b>【目標指標】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">指 標</th> <th style="width: 20%;">令和3年度【実績値】</th> <th style="width: 20%;">令和9年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「職場の仕事の内容や待遇で男女の差がない」と答えた勤労者の割合</td> <td style="text-align: center;">54.5%</td> <td style="text-align: center;">60.0%</td> </tr> <tr> <td>女性の活躍促進に資する講座や教室の開催回数(累計)</td> <td style="text-align: center;">延べ36回</td> <td style="text-align: center;">延べ200回</td> </tr> <tr> <td>「くるみん認定・えるぼし認定・いわて子育てにやさしい企業等認証・いわて女性活躍企業等認定制度」の認定・認証企業数(累計)</td> <td style="text-align: center;">延べ23事業者</td> <td style="text-align: center;">延べ30事業者</td> </tr> <tr> <td>「仕事と子育てが両立できる環境が整っている」と答えた市民の割合</td> <td style="text-align: center;">29.4%</td> <td style="text-align: center;">40.0%</td> </tr> <tr> <td>「育児休暇や介護休暇が取得しやすい」と答えた勤労者の割合</td> <td style="text-align: center;">49.6%</td> <td style="text-align: center;">60.0%</td> </tr> <tr> <td>市男性職員の育児休業取得割合</td> <td style="text-align: center;">25.0%</td> <td style="text-align: center;">30.0%</td> </tr> <tr> <td>市職員の管理職に占める女性の割合</td> <td style="text-align: center;">15.9%</td> <td style="text-align: center;">20.0%</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	令和3年度【実績値】	令和9年度目標値	「職場の仕事の内容や待遇で男女の差がない」と答えた勤労者の割合	54.5%	60.0%	女性の活躍促進に資する講座や教室の開催回数(累計)	延べ36回	延べ200回	「くるみん認定・えるぼし認定・いわて子育てにやさしい企業等認証・いわて女性活躍企業等認定制度」の認定・認証企業数(累計)	延べ23事業者	延べ30事業者	「仕事と子育てが両立できる環境が整っている」と答えた市民の割合	29.4%	40.0%	「育児休暇や介護休暇が取得しやすい」と答えた勤労者の割合	49.6%	60.0%	市男性職員の育児休業取得割合	25.0%	30.0%	市職員の管理職に占める女性の割合	15.9%	20.0%
指 標	令和3年度【実績値】	令和9年度目標値																																																									
「性別による役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)はない」と答えた市民の割合	42.8%	50.0%																																																									
各種審議会などにおける女性委員登用率	35.0%	40.0%																																																									
(仮称)「男女共同市民会議」の参加者数(累計)	—	延べ100人																																																									
男女共同参画サポーターの認定者数(累計)	37人	57人																																																									
「LGBTなどの言葉の意味を知っている」と答えた市民の割合	51.0%	70.0%																																																									
指 標	令和3年度【実績値】	令和9年度目標値																																																									
「家庭内で男女が家事(炊事、掃除、洗濯、子育て、介護など)の分担をしている」と答えた市民の割合	40.8%	45.0%																																																									
家事・育児・介護への男性の参画拡大に資する講座・教室の参加者数(累計)	延べ97人	延べ500人																																																									
「保育サービスが充実している」と答えた市民の割合	37.7%	45.0%																																																									
「DV被害などについて相談窓口があることを知っている」と答えた市民の割合	32.5%	70.0%																																																									
指 標	令和3年度【実績値】	令和9年度目標値																																																									
「職場の仕事の内容や待遇で男女の差がない」と答えた勤労者の割合	54.5%	60.0%																																																									
女性の活躍促進に資する講座や教室の開催回数(累計)	延べ36回	延べ200回																																																									
「くるみん認定・えるぼし認定・いわて子育てにやさしい企業等認証・いわて女性活躍企業等認定制度」の認定・認証企業数(累計)	延べ23事業者	延べ30事業者																																																									
「仕事と子育てが両立できる環境が整っている」と答えた市民の割合	29.4%	40.0%																																																									
「育児休暇や介護休暇が取得しやすい」と答えた勤労者の割合	49.6%	60.0%																																																									
市男性職員の育児休業取得割合	25.0%	30.0%																																																									
市職員の管理職に占める女性の割合	15.9%	20.0%																																																									